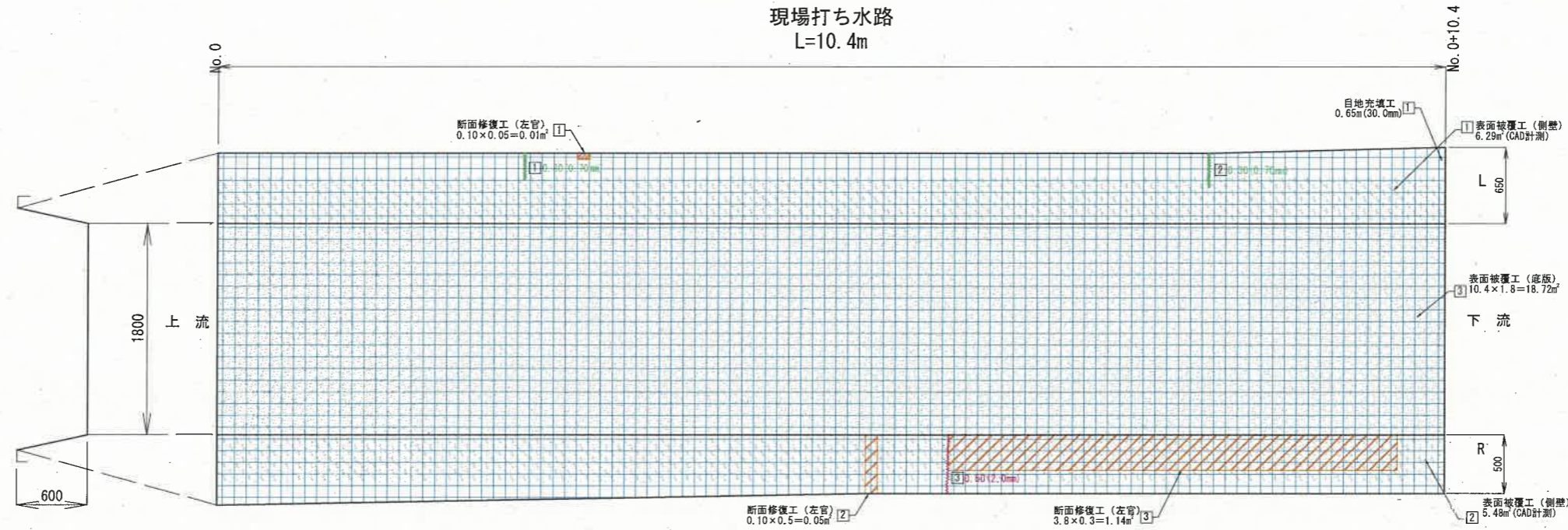


地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 0~No. 0+10.4	縮尺	図示

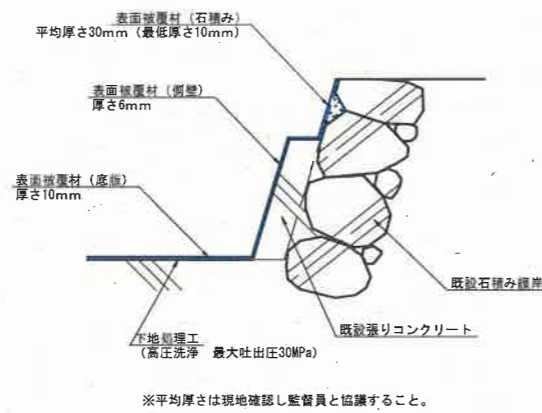
補修図 (1) (No. 0~No. 0+10.4)

S=1:50

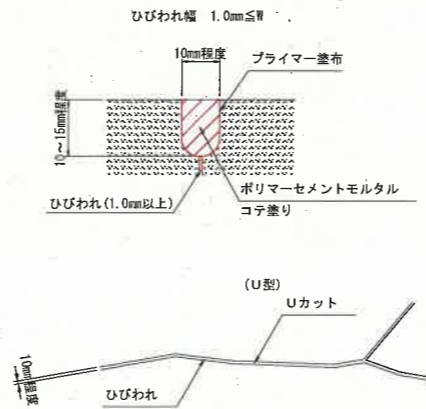


クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		
粗骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填: 修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
表面被覆工		表面被覆工 (橋梁: 被覆厚20mm)
		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

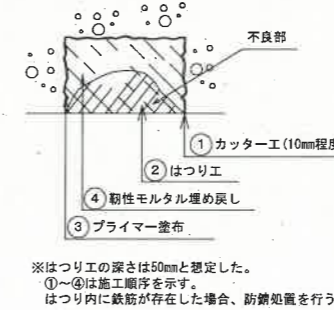
表面被覆工_コンクリート水路 (参考図)



ひびわれ充填工 (参考図)

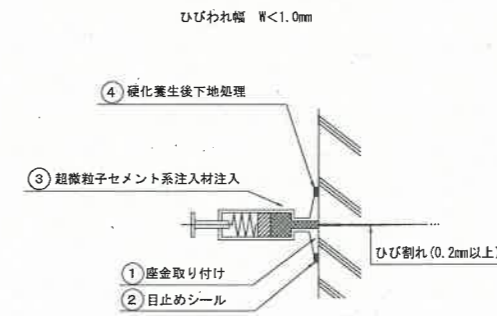


断面修復工_左官 (参考図)



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①~④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合は、防錆処置を行うこと。

ひびわれ注入工 (参考図)



※注入工での増幅はひびわれ幅1.0mm未満を目安とするが、ひびわれ幅1.0mm以上の適用を禁止するものではない。現地状況の施工性を考慮し、注入工または充填工を選定すること。

断面修復工 (左官)

番号	数量 (m ²)
①	0.01
②	0.05
③	1.14
合計	1.20

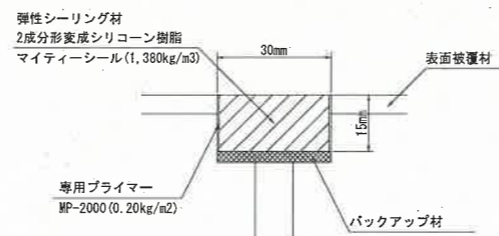
表面被覆工 (単位: m²)

番号	t=6mm (側壁)		t=10mm (底版)	
	数量	幅 (mm)	数量	幅 (mm)
①	6.29			
②	5.48			
③			18.72	
合計	11.77		18.72	

ひびわれ延長 (単位: m)

番号	ひびわれ延長 (単位: m)		
	1.0mm未満 (注入工)	1.0mm~5.0mm (充填工)	5.0mm以上 (充填工)
①	0.30 (0.70mm)		
②	0.30 (0.70mm)		
③		0.50 (2.0mm)	
合計	0.60	0.50	

目地充填工 (参考図)



目地充填工

番号	数量 (m)	幅 (mm)
①	0.65	30.0
合計	0.65	30.0

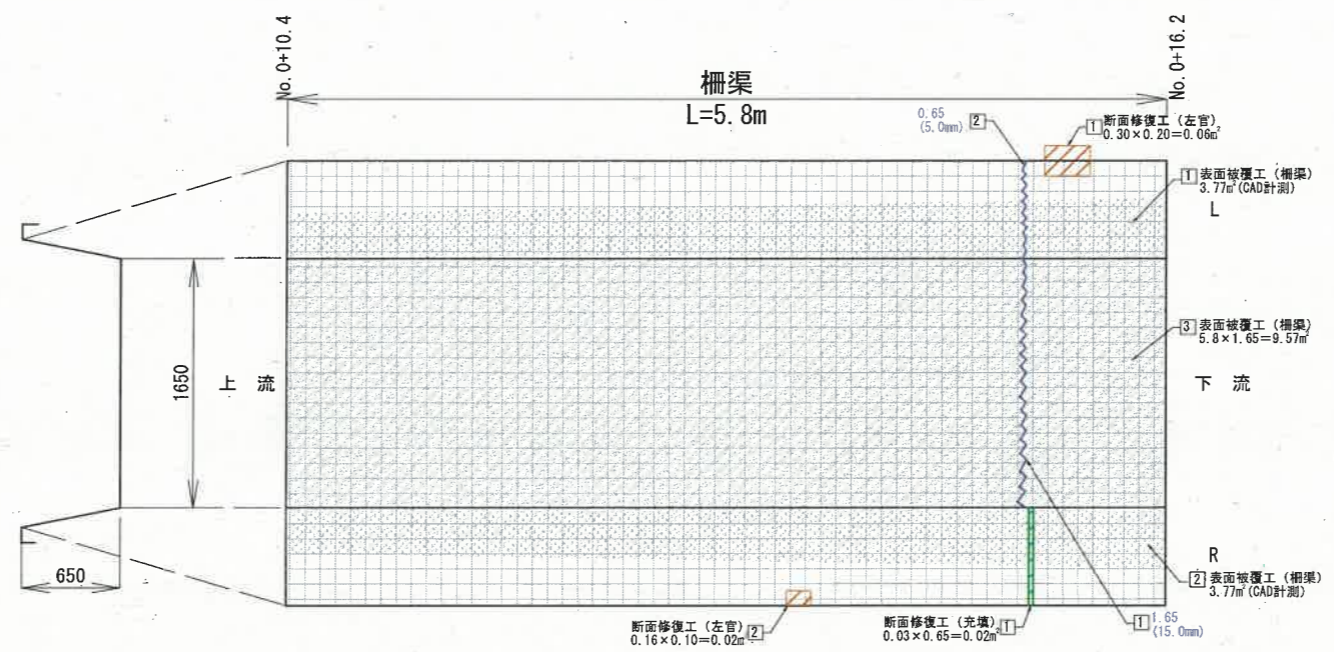
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 18 号 25 枚内
図面名称	古豊干地区水路補修工事 補修図 (1) (No. 0~No. 0+10.4)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

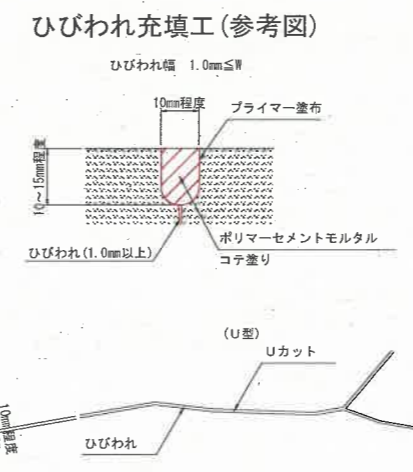
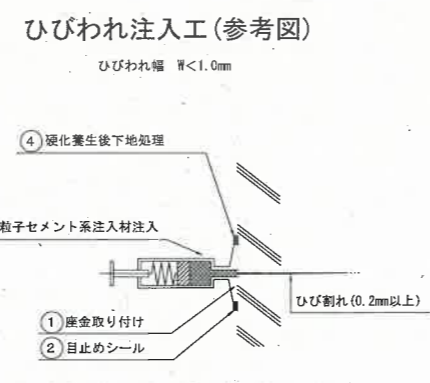
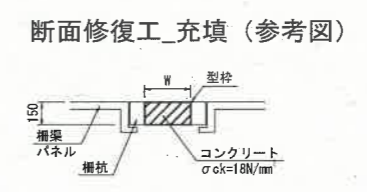
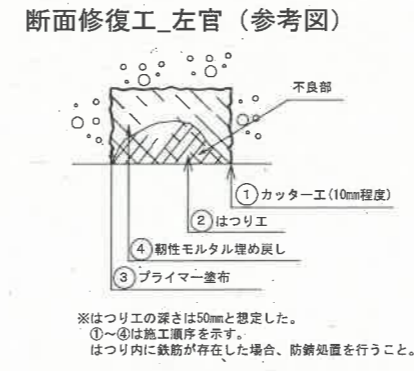
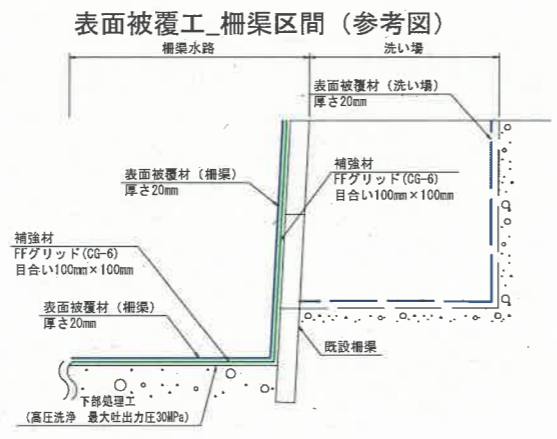
地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 0+10.4 ~No. 0+16.2	縮尺	図示

補修図 (2) (No. 0+10.4~No. 0+16.2)

S=1:50



クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		ひび割れ充填工
粗骨材剥落		表面被覆工
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		表面被覆工
石露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填: 修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
		表面被覆工 (槽渠: 被覆厚20mm)
土砂堆積		土砂除去
		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し



番号	数量 (m2)
①	0.06
②	0.02
合計	0.08

番号	1.0mm未満 (注入工)	1.0mm~5.0mm (充填工)	5.0mm以上 (充填工)
①		1.65 (15.0mm)	
②		0.65 (5.0mm)	
合計		2.30	

番号	t=20mm (槽渠)
①	3.77
②	3.77
③	9.57
合計	17.11

番号	面積	体積
①	0.02	0.003
合計	0.02	0.003

※注入工での補修はひびわれ幅1.0mm未満を目安とするが、ひびわれ幅1.0mm以上の適用を禁止するものではない。現地状況の施工性を考慮し、注入工または充填工を選定すること。

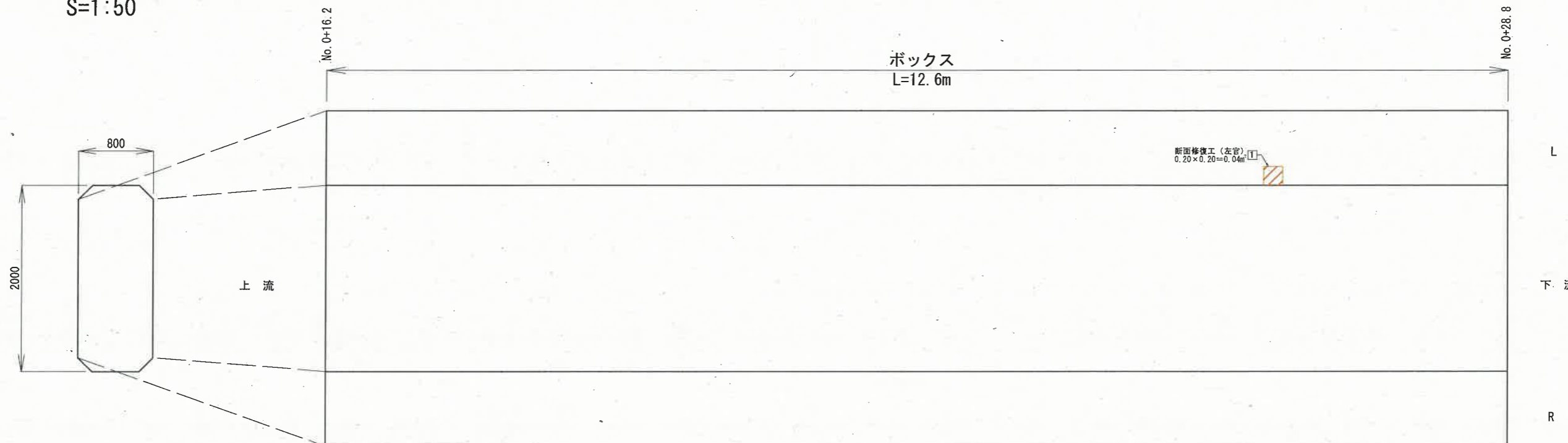
施工上の注意
 ・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
 ・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 19 号 25 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 補修図 (2) (No. 0+10.4~No. 0+16.2)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写真年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 0+16.2 ~No. 0+28.8	縮尺	図示

補修図 (3) (No. 0+16.2~No. 0+28.8)

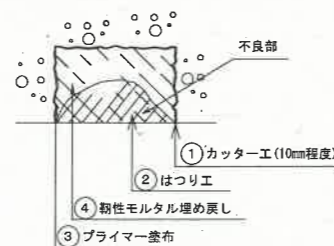
S=1:50



凡例	
クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm	ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上	
粗骨材剥落	
細骨材露出	表面被覆工
粗骨材露出	
石積露出	表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損	目地充填工
開き	断面修復工 (充填: 修復深さ50mm)
表面被覆工	表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
	表面被覆工 (側壁: 被覆厚6mm)
	表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
表面被覆工	表面被覆工 (構梁: 被覆厚20mm)
土砂堆積	土砂撤去
張りコンクリート	張りコンクリート
埋め戻し	埋め戻し

断面修復工 (左官)	
番号	数量 (m ²)
①	0.04
②	0.01
③	0.03
合計	0.08

断面修復工_左官 (参考図)



※はつり工の深さは50mmと想定した。
①~④は施工順序を示す。
はつり内に鉄筋が存在した場合は、防錆処置を行うこと。

図面番号	第 20 号 25 枚内
図面名称	古豊干地区水路補修工事 補修図 (3) (No. 0+16.2~No. 0+28.8)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日

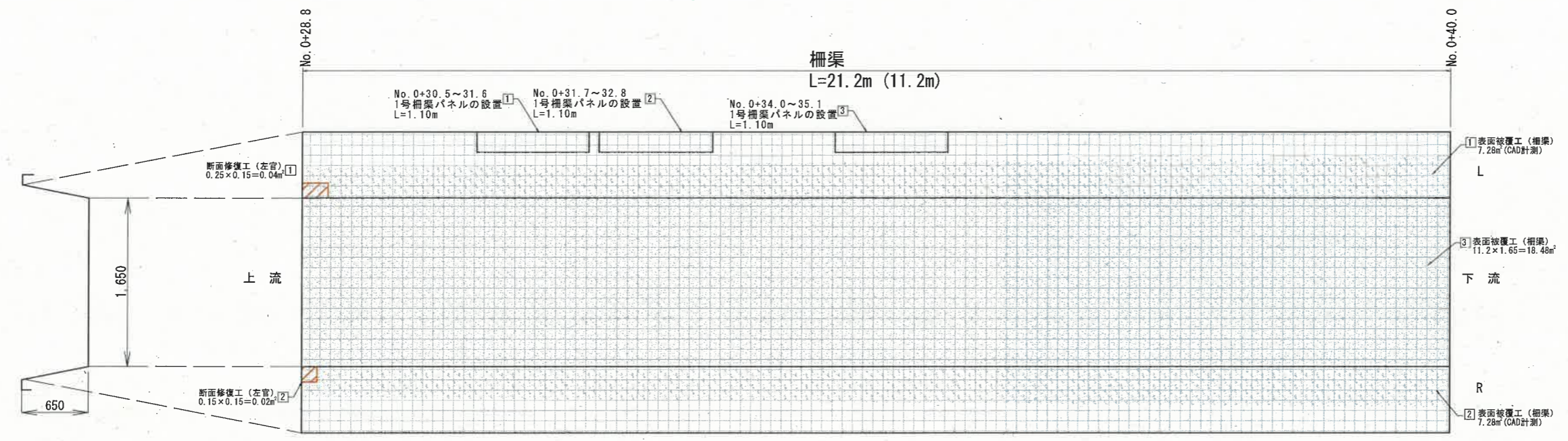
施工上の注意点
 ・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
 ・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。
 ・石積部補修の際は、間詰のうきを撤去すること。

米子市経済部農林水産振興局農林課

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 0+28.8~No. 1	縮尺	図示

補修図 (4) (No. 0+28.8~No. 1) (1/2)

S=1:50

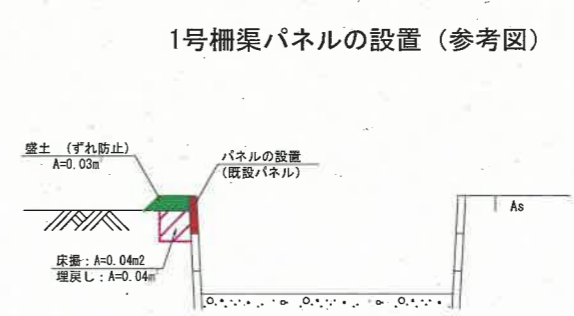
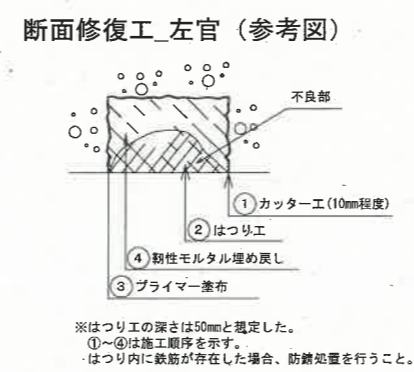
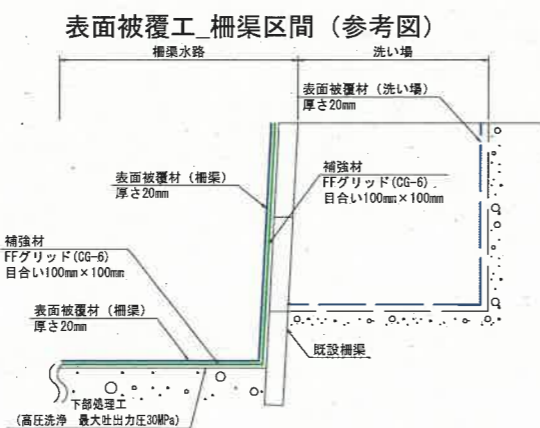


凡例

クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		
細骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填・修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
		表面被覆工 (削替: 被覆厚6mm)
		表面被覆工 (巻版: 被覆厚10mm)
		表面被覆工 (柵梁: 被覆厚20mm)
		表面被覆工 (洗い場: 被覆厚20mm)
土砂堆積		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	ヒューム管(φ150)	右岸	No. 0+43.2	



断面修復工 (左官) (単位: m2)

番号	数量
[1]	0.04
[2]	0.02
合計	0.06

表面被覆工 (単位: m2)

番号	t=20mm (柵梁)
[1]	7.28
[2]	7.28
[3]	18.48
[4]	6.50
[5]	6.48
[6]	16.50
合計	62.52

柵渠パネルの設置

番号	(枚)
[1]	1
[2]	1
[3]	1
合計	3

床掘(柵渠パネルの設置)

番号	面積	延長	体積
[1]	0.04	1.10	0.04
[2]	0.04	1.10	0.04
[3]	0.04	1.10	0.04
合計	0.12	3.30	0.12

埋戻し(柵渠パネルの設置)

番号	面積	延長	体積
[1]	0.04	1.10	0.04
[2]	0.04	1.10	0.04
[3]	0.04	1.10	0.04
合計	0.12	3.30	0.12

盛土(柵渠パネルの設置)

番号	面積	延長	体積
[1]	0.03	1.10	0.03
[2]	0.03	1.10	0.03
[3]	0.03	1.10	0.03
合計	0.09	3.30	0.09

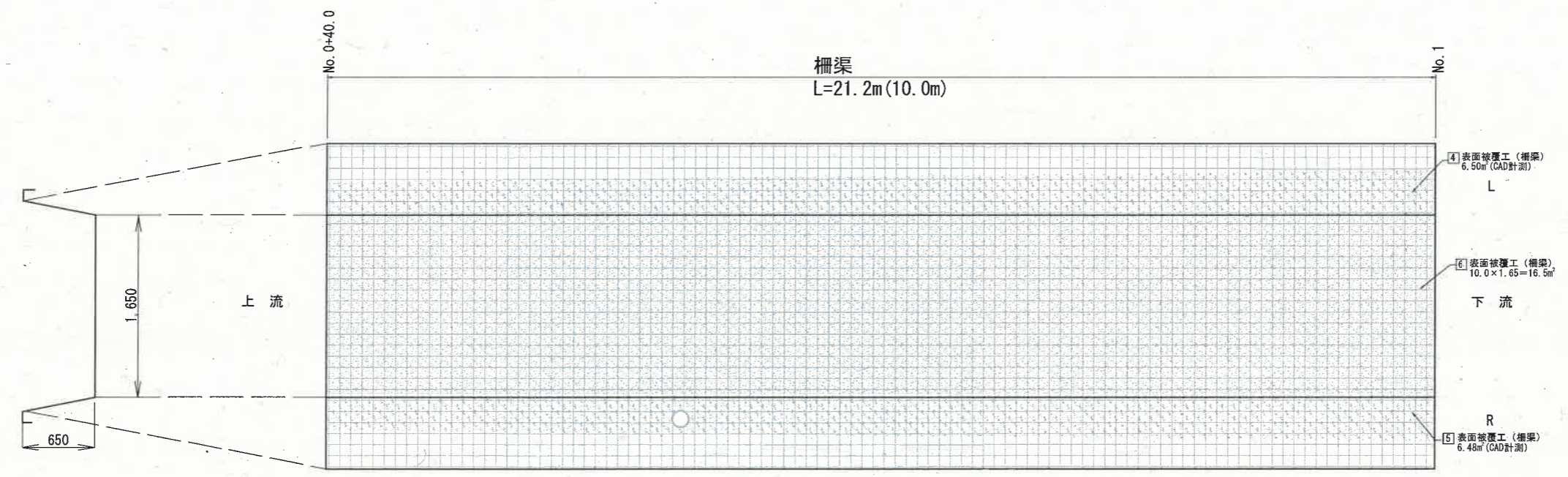
施工上の注意点
 ・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
 ・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 21 号 25 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 補修図 (4) (No. C+28.8~No. 1) (1/2)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 0+28.8~No. 1	縮尺	図示

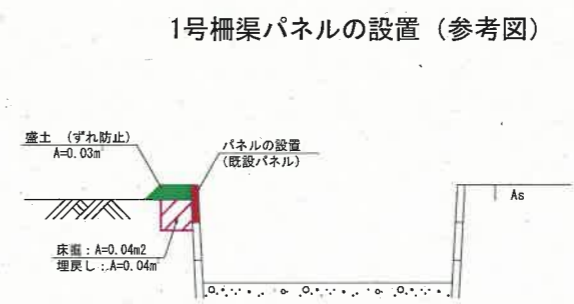
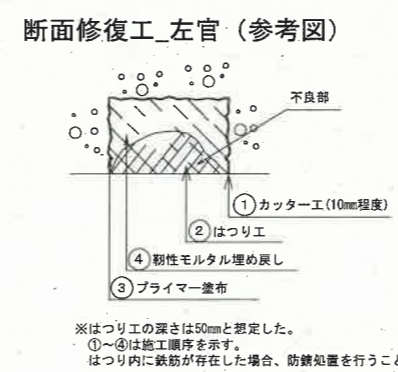
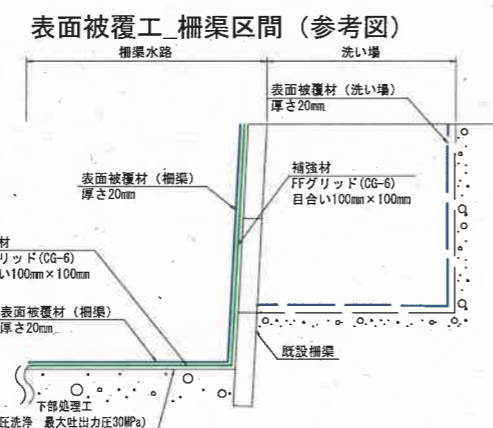
補修図 (4) (No. 0+28.8~No. 1) (2/2)

S=1:50



クラック 1.0mm未満		ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm		ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上		
粗骨材剥落		
粗骨材露出		表面被覆工
粗骨材露出		
石積露出		表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ		断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損		目地充填工
開き		断面修復工 (充填:修復深さ50mm)
表面被覆工		表面被覆工 (石積:被覆厚30mm)
		表面被覆工 (側壁:被覆厚6mm)
		表面被覆工 (底版:被覆厚10mm)
		表面被覆工 (柵梁:被覆厚20mm)
		表面被覆工 (洗い場:被覆厚20mm)
土砂堆積		土砂撤去
張りコンクリート		張りコンクリート
埋め戻し		埋め戻し

番号	施設	位置	測点	備考
①	ヒューム管(φ150)	右岸	No. 0+43.2	



番号	数量 (m2)
[1]	0.04
[2]	0.02
合計	0.06

番号	数量 (m2)
[1]	7.28
[2]	7.28
[3]	18.48
[4]	6.50
[5]	6.48
[6]	16.50
合計	62.52

番号	数量 (枚)
[1]	1
[2]	1
[3]	1
合計	3

番号	面積	延長	体積
[1]	0.04	1.10	0.04
[2]	0.04	1.10	0.04
[3]	0.04	1.10	0.04
合計	0.12	3.30	0.12

番号	面積	延長	体積
[1]	0.04	1.10	0.04
[2]	0.04	1.10	0.04
[3]	0.04	1.10	0.04
合計	0.12	3.30	0.12

番号	面積	延長	体積
[1]	0.03	1.10	0.03
[2]	0.03	1.10	0.03
[3]	0.03	1.10	0.03
合計	0.09	3.30	0.09

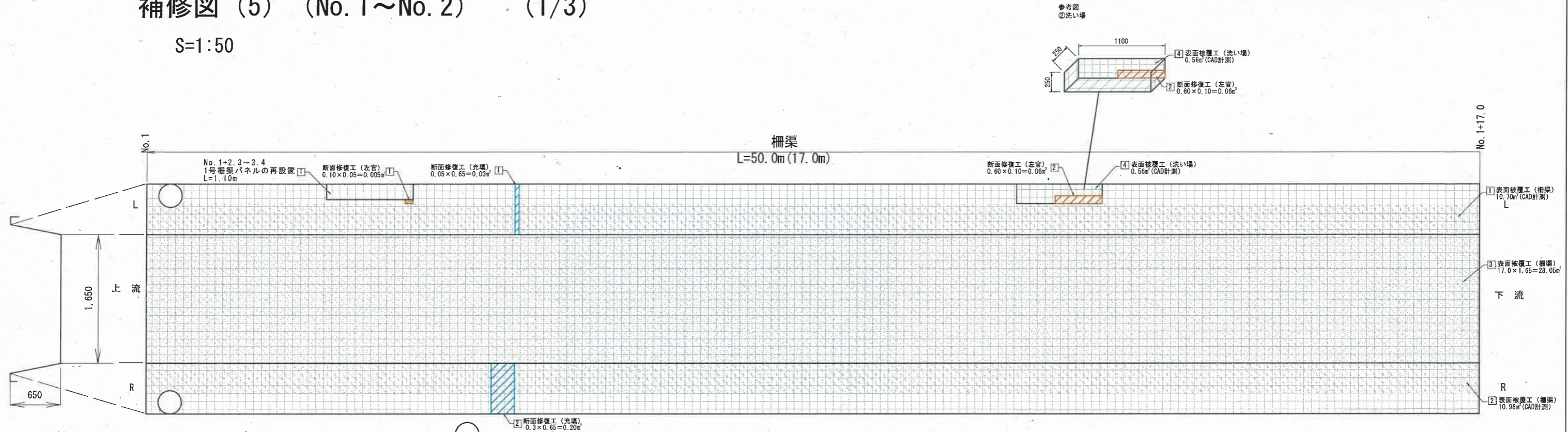
施工上の注意点
 ・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
 ・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 22 号 25 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 補修図 (4) (No. 0+28.8~No. 1) (2/2)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No.1~No.2	縮尺	図示

補修図 (5) (No.1~No.2) (1/3)

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm	ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上	ひび割れ充填工
粗骨材剥落	表面被覆工
粗骨材露出	表面被覆工
石積露出	表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損	目地充填工
開き	断面修復工 (充填:修復深さ50mm)
	表面被覆工 (石積:被覆厚30mm)
	表面被覆工 (側壁:被覆厚6mm)
	表面被覆工 (底版:被覆厚10mm)
表面被覆工	表面被覆工 (欄梁:被覆厚20mm)
	表面被覆工 (洗い場:被覆厚20mm)
土砂堆積	土砂撤去
張りコンクリート	張りコンクリート
埋め戻し	埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	ヒューム管(φ300)	左右岸	No.1+0.2	
②	洗い場	左岸	No.1+11.1	
③	管(φ100)	左岸	No.1+22.6	
④	管(φ100)	左岸	No.1+24.4	
⑤	塩ビ管(φ100)	左岸	No.1+25.5	
⑥	ヒューム管(φ300)	右岸	No.1+27.2	
⑦	塩ビ管(φ100)	左岸	No.1+36.1	
⑧	塩ビ管(φ100)	左岸	No.1+45.5	

埋戻し

番号	面積	延長	体積
①	0.08	18.0	1.44
合計	0.08	18.0	1.44

断面修復工(左官)

番号	数量(m2)
①	0.01
②	0.06
③	0.04
合計	0.11

表面被覆工 (単位:m2)

番号	t=20mm (洗い場)	t=20mm (欄梁)
①	10.70	
②	10.98	
③	28.05	
④	0.56	
⑤		11.04
⑥		11.03
⑦		28.05
⑧		10.40
⑨		10.40
⑩		26.40
合計	0.56	147.1

断面修復工(充填)

番号	面積	体積
①	0.03	0.01
②	0.20	0.08
③	0.16	0.02
④	0.14	0.02
合計	0.53	0.08

欄梁パネルの設置

番号	(枚)
①	1
②	1
合計	2

床掘(欄梁パネルの設置)

番号	面積	延長	体積
①	0.04	1.10	0.04
②	0.05	1.10	0.06
合計	0.12	2.20	0.10

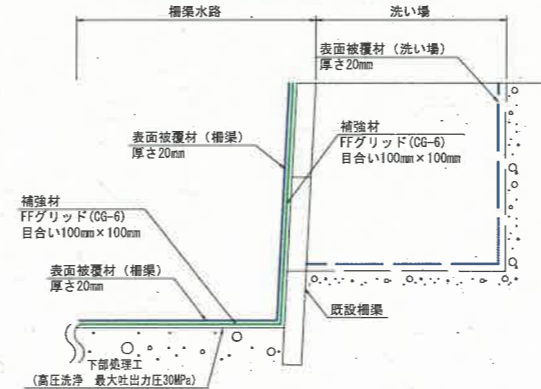
埋戻し(欄梁パネルの設置)

番号	面積	延長	体積
①	0.04	1.10	0.04
②	0.05	1.10	0.06
合計	0.12	2.20	0.10

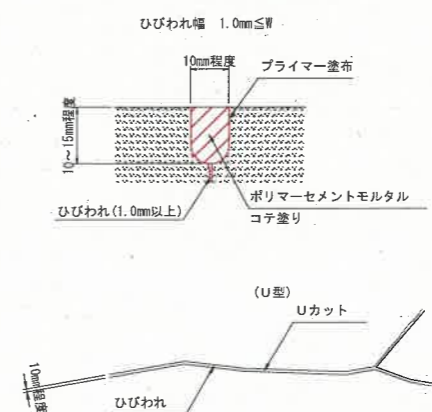
盛土(欄梁パネルの設置)

番号	面積	延長	体積
①	0.03	1.10	0.03
合計	0.03	1.10	0.03

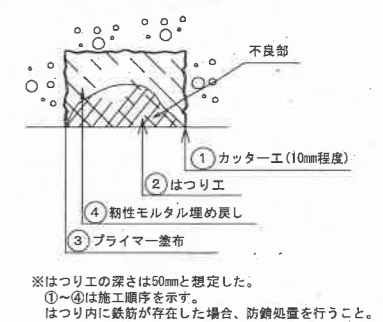
表面被覆工_欄梁区間(参考図)



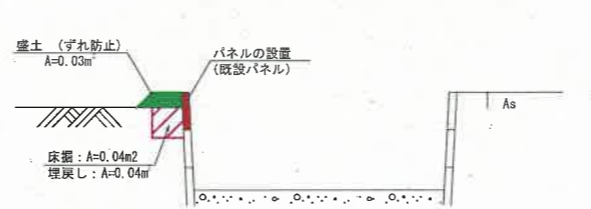
ひびわれ充填工(参考図)



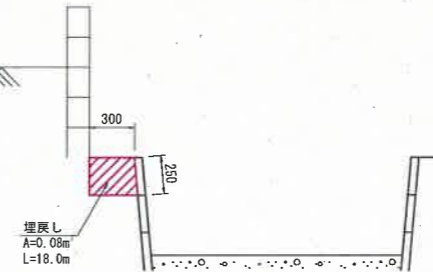
断面修復工_左官(参考図)



1号欄梁パネルの設置(参考図)



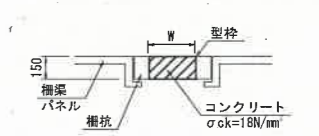
1号埋め戻し工(参考図)



2号欄梁パネルの設置(参考図)



断面修復工_充填(参考図)



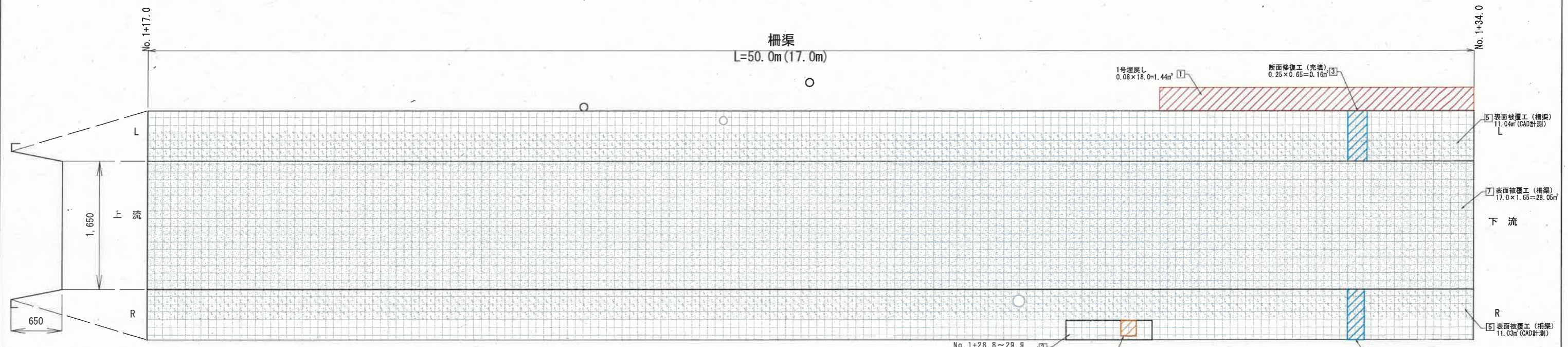
施工上の注意点
・本図面は簡易計測結果を基に作成しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 23 号 25 枚内
図面名称	古豊千地区水路補修工事 補修図(5) (No.1~No.2) (1/3)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

地区名	東豊田用水路	施工年度	昭和48年
測点	No. 1~No. 2	縮尺	図示

補修図 (5) (No. 1~No. 2) (2/3)

S=1:50



凡例

クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm	ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上	ひび割れ充填工
粗骨材剥落	表面被覆工
粗骨材露出	表面被覆工
石積露出	表面被覆工 (被覆厚30mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	断面修復工 (修復深さ50mm)
目地劣化・欠損	目地充填工
開き	断面修復工 (充填・修復深さ50mm)
表面被覆工	表面被覆工 (石積: 被覆厚30mm)
	表面被覆工 (削壁: 被覆厚6mm)
	表面被覆工 (底版: 被覆厚10mm)
	表面被覆工 (欄梁: 被覆厚20mm)
土砂堆積	土砂撤去
	張りコンクリート
埋め戻し	埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	ヒューム管(φ300)	左右岸	No. 1+0.2	
②	洗い場	左岸	No. 1+11.1	
③	管(φ100)	左岸	No. 1+22.6	
④	管(φ100)	左岸	No. 1+24.4	
⑤	塩ビ管(φ100)	左岸	No. 1+25.5	
⑥	ヒューム管(φ300)	右岸	No. 1+27.2	
⑦	塩ビ管(φ100)	左岸	No. 1+36.1	
⑧	塩ビ管(φ100)	左岸	No. 1+45.5	

埋戻し

番号	面積	延長	体積
①	0.08	18.0	1.44
合計	0.08	18.0	1.44

断面修復工 (左官)

番号	数量 (m2)
①	0.01
②	0.06
③	0.04
合計	0.11

表面被覆工 (単位: m2)

番号	t=20mm (洗い場)		t=20mm (欄梁)	
	面積	延長	面積	延長
①	0.01	18.0	10.70	18.0
②	0.06	18.0	10.98	18.0
③	0.04	18.0	28.05	18.0
合計	0.11	18.0	56.73	18.0

断面修復工 (充填)

番号	面積	体積
①	0.03	0.01
②	0.20	0.03
③	0.16	0.02
④	0.14	0.02
合計	0.53	0.08

欄梁パネルの設置

番号	(枚)
①	1
②	1
合計	2

床掘 (欄梁パネルの設置)

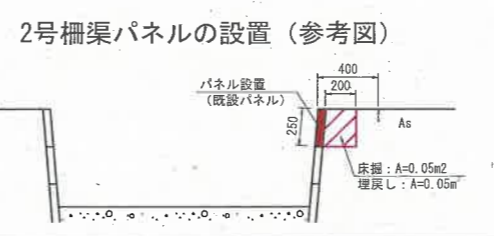
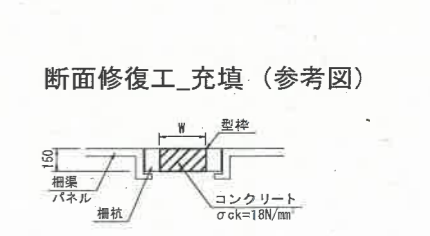
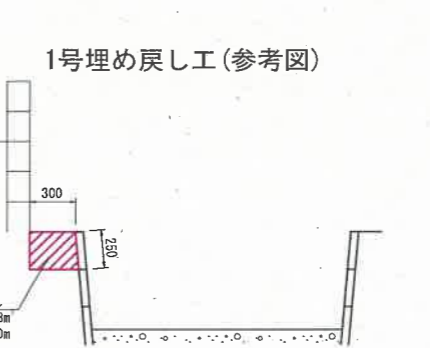
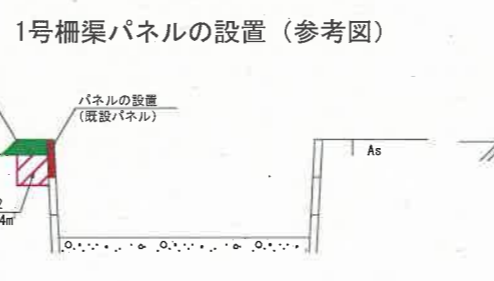
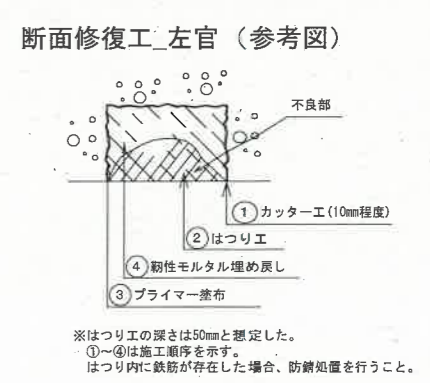
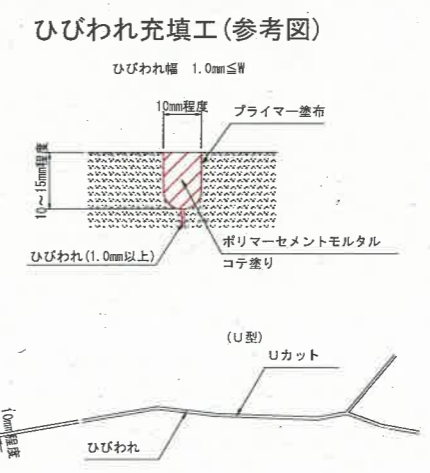
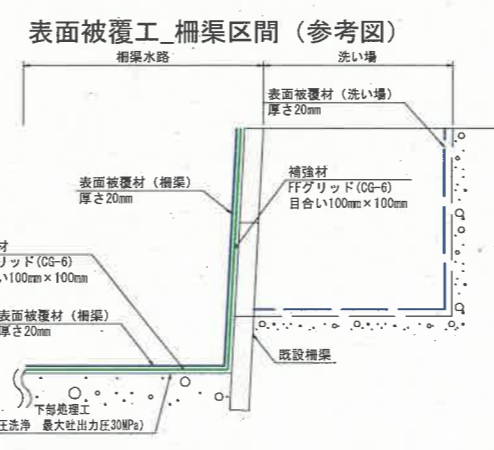
番号	面積	延長	体積
①	0.04	1.10	0.04
②	0.05	1.10	0.06
合計	0.12	2.20	0.10

埋戻し (欄梁パネルの設置)

番号	面積	延長	体積
①	0.04	1.10	0.04
②	0.05	1.10	0.06
合計	0.12	2.20	0.10

盛土 (欄梁パネルの設置)

番号	面積	延長	体積
①	0.03	1.10	0.03
合計	0.03	1.10	0.03

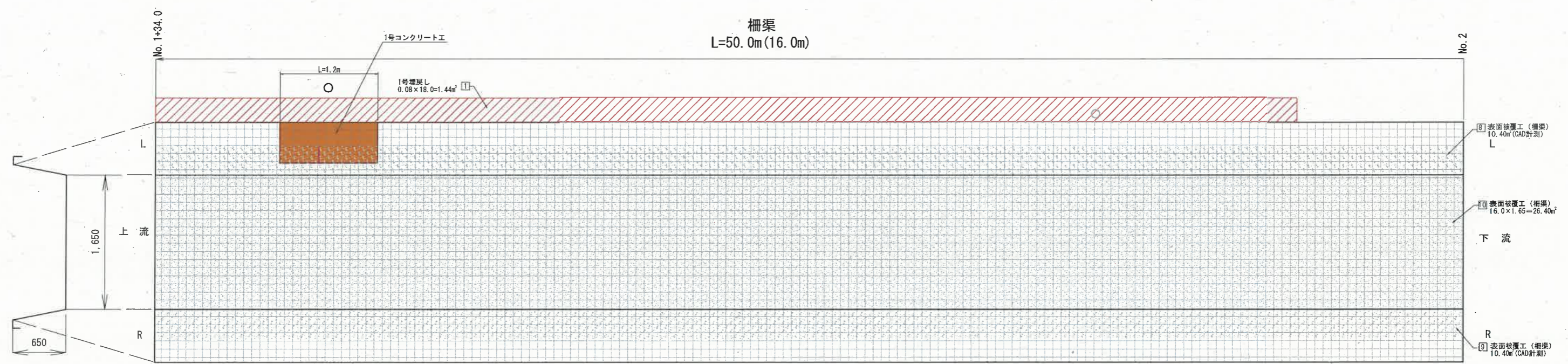


施工上の注意
 ・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
 ・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

図面番号	第 24 号 25 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 補修図 (5) (No. 1~No. 2) (2/3)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

補修図 (5) (No. 1~No. 2) (3/3)

S=1:50



凡例

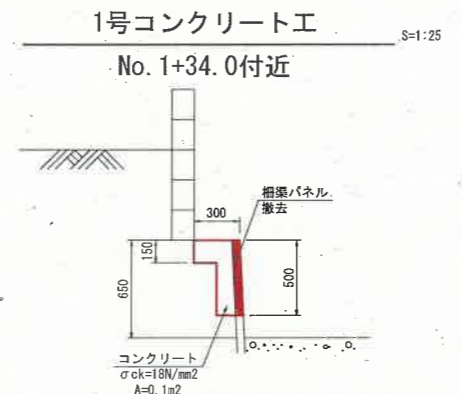
クラック 1.0mm未満	ひび割れ注入工
クラック 1.0mm~5.0mm	ひび割れ充填工
クラック 5.0mm以上	
粗骨材剥落	表面被覆工
粗骨材露出	表面被覆工 (被覆厚30mm)
石積露出	断面修復工 (修復深さ50mm)
欠損、剥離、浮き、ジャンカ	目地充填工
目地劣化・欠損	断面修復工 (充填:修復深さ50mm)
開き	表面被覆工 (石積:被覆厚30mm)
	表面被覆工 (側壁:被覆厚6mm)
	表面被覆工 (底版:被覆厚10mm)
表面被覆工	表面被覆工 (欄架:被覆厚20mm)
	表面被覆工 (洗い場:被覆厚20mm)
土砂堆積	土砂撤去
張りコンクリート	張りコンクリート
埋め戻し	埋め戻し

水路施設一覧表

番号	施設	位置	測点	備考
①	ヒューム管(φ300)	左右岸	No. 1+0.2	
②	洗い場	左岸	No. 1+11.1	
③	管(φ100)	左岸	No. 1+22.6	
④	管(φ100)	左岸	No. 1+24.4	
⑤	塩ビ管(φ100)	左岸	No. 1+25.5	
⑥	ヒューム管(φ300)	右岸	No. 1+27.2	
⑦	塩ビ管(φ100)	左岸	No. 1+36.1	
⑧	塩ビ管(φ100)	左岸	No. 1+45.5	

埋戻し

番号	面積	延長	体積
1	0.08	18.0	1.44
合計	0.08	18.0	1.44



名称	規格	単位	計算式	数量
コンクリート	σck=18N/mm ²	m ³	0.100×10.000	1.000
型枠	小型構造物	m ²	0.100×2×0.500×10.000	5.200

断面修復工 (左官)

番号	数量 (m ²)
1	0.01
2	0.06
3	0.04
合計	0.11

表面被覆工 (単位: m²)

番号	t=20mm (洗い場)	t=20mm (欄架)
1		10.70
2		10.98
3		28.05
4	0.56	
5		11.04
6		11.03
7		28.05
8		10.40
9		10.40
10		26.40
合計	0.56	147.1

断面修復工 (充填)

番号	面積	体積
1	0.03	0.01
2	0.20	0.03
3	0.16	0.02
4	0.14	0.02
合計	0.53	0.08

欄架パネルの設置

番号	(枚)
1	1
2	1
合計	2

床掘 (欄架パネルの設置)

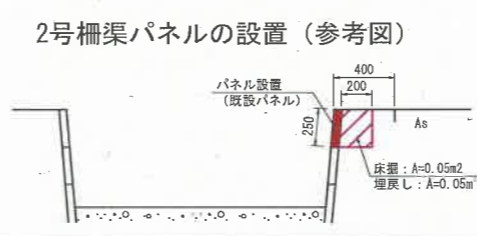
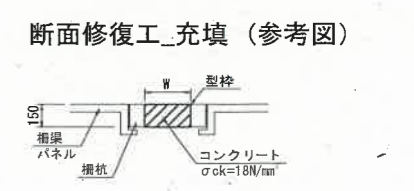
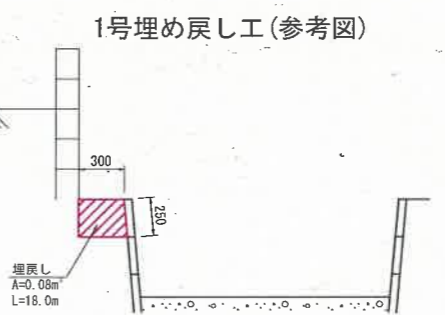
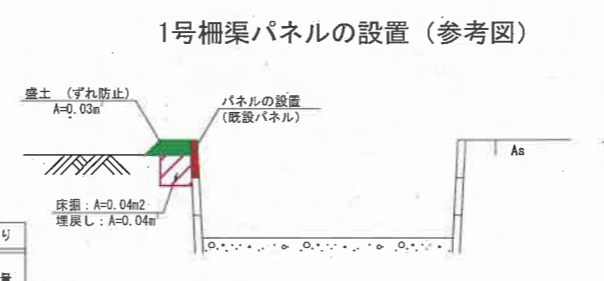
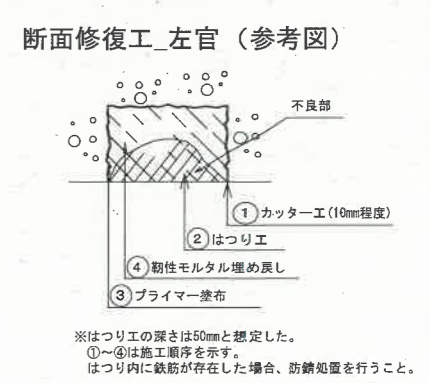
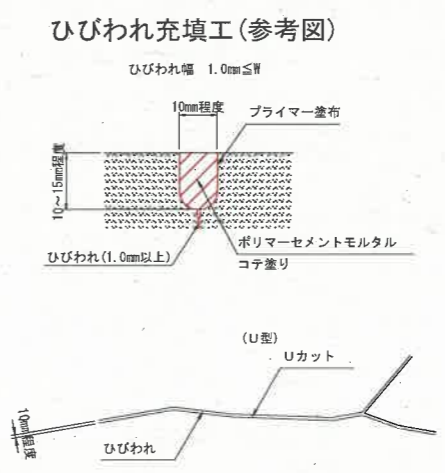
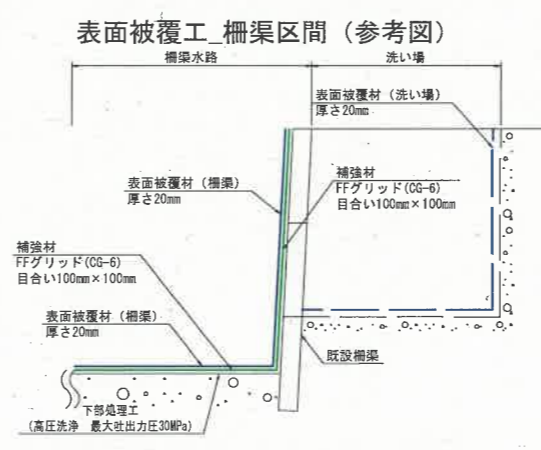
番号	面積	延長	体積
1	0.04	1.10	0.04
2	0.05	1.10	0.06
合計	0.12	2.20	0.10

埋戻し (欄架パネルの設置)

番号	面積	延長	体積
1	0.04	1.10	0.04
2	0.05	1.10	0.06
合計	0.12	2.20	0.10

盛土 (欄架パネルの設置)

番号	面積	延長	体積
1	0.03	1.10	0.03
合計	0.03	1.10	0.03



施工上の注意
・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
・必要に応じて協議により補修内容・数量を決定すること。

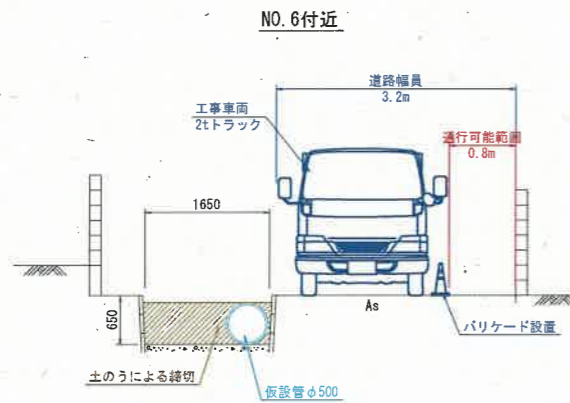
図面番号	第 25 号 25 枚内
図面名称	古豊田地区水路補修工事 裏図 (5) (No. 1~No. 2) (3/3)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
承認年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	

施工計画図（参考図）

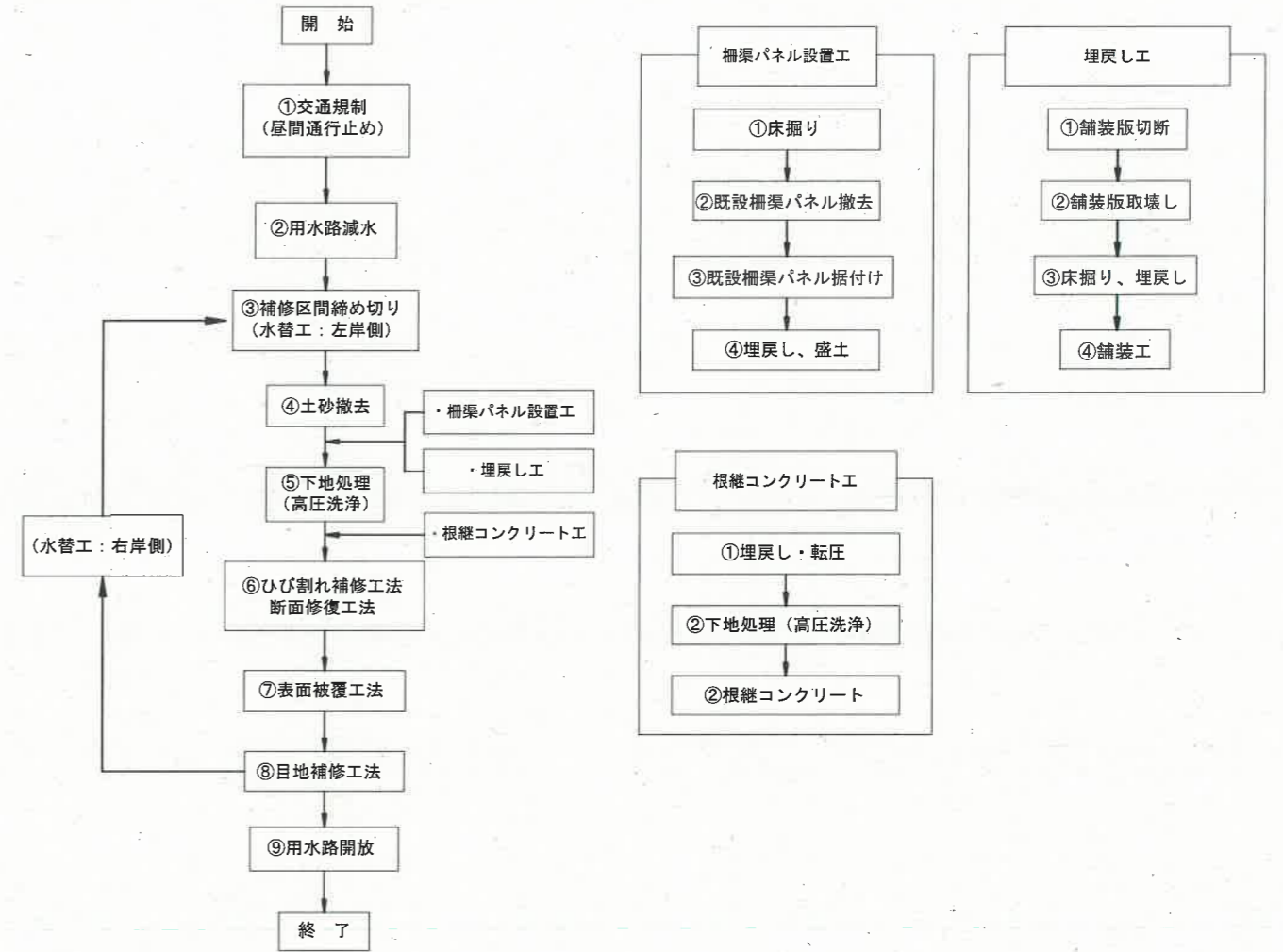
平面図 S=1:250



横断面図 S=1:50



施工フロー



施工上の留意事項

- ・本図面は簡易計測結果を基に作図しているため、施工にあたっては、事前に現地調査を行うこと。
- ・補修作業中（昼間）は、工事車両を市道内に配置するため、工事範囲と隣接する市道は一時通行止めする必要がある。
- ・水路内に配置されている町内放送ケーブルは、施工の際には移設を要す。
- ・片岸の施工は、対岸施工時の足場を確保するため、水路断面の半分以上の補修作業を行う。
- ・施工の際は、減水を行ったうえでの水替え工が必要となるため、減水の量・時期等については地元との確認を要す。
- ・施工時に宅地からの雨水排水に留意すること。
- ・宅地の出入り口等に車両や機材等を置かない様注意すること。
- ・未使用施設について、施工前に地元関係者と現地踏査を行い事前に確認すること。

図面番号	第 1 号 1 枚内
図面名称	古豊子地区水路補修工事 施工計画図 (参考図)
縮尺	図示
製図年月日	令和 年 月 日
写図年月日	令和 年 月 日
米子市経済部農林水産振興局農林課	